

長泉町・さわやかハイキング報告書

通算山行NO	NO・83	報告者	鈴木 恵美子
年月日	2010年06月06日(日・晴れ)	2万5千	山北・関本・御殿場
山名	箱根 金時山(1213m)		
体力度=4・やや厳しい 技術度=3・簡単 藪漕=無し 道標=ある トイレ=有り 展望度=良い 三角点名=金時山 等級=三等			
あなどるなかれ！金時山			
コース とタイム	下土狩駅6:08→山北駅6:58→登山開始7:15→地藏堂10:00→ 夕日の滝分岐11:20→金時山12:40-13:30→新柴分岐13:56 →足柄駅15:45→御殿場線16:22→各駅		
標高差	上り 山北駅約100m～金時山1213m=約1100m 下り 金時山1213m～足柄駅約330m=約900m		
参加者	CL・後藤隆徳、伊藤従人、伊藤陽子、大川章子、井上弘二郎、石和佳代子、 村上美恵子、峰田光江、世古悦子、土屋弥生、鈴木恵美子、勝田勝子、河合純子、 天野和子、芹澤圭子、増田真理子、津田てる子、佐藤明子、村山忠彦=19名		

今日は、さわやかハイク2010年A隊の初登山です。

新人2名とれいほうの1人を含め19人の電車で行く排気ガスゼロのエコなハイク。

下土狩駅を6時08分に出発、山北駅6時58分着の御殿場線。山北駅から金時山に登り足柄駅まで下るコースをとります。

金時山は何度か行った事がありますが、いつも公時神社から金時山・乙女峠を通過して帰るコースでした。

今日は訓練のため10kg強を背負った登山。



初顔合わせの意味で自己紹介から始まった。各自準備体操を済ませ7時15分いよいよ登山開始です。

天気もよく暑くなりそうな気配が・・・



歩き始めて1時間で第1回目の休憩。

昨年登った矢倉岳の分岐を過ぎ矢倉沢公民館の前でトイレ休憩(8時40分)

看板を確認するも距離的に登山口まで

まだまだ車道を延々と歩かなければならない。日差しも強くなり、だらだらと登って

いる坂は疲れる。車道を離れ足柄古道を進むが相変わらず道路は舗装され車も通る。



やっと着いた地蔵堂からは矢倉岳が見えた。夕日の滝の登山口まではあともう少しだ。近くには猟師の家らしく、いのししの毛皮が干してある。10時頃やっと舗装された道路から開放される。ほんとに長かったあ！すでに3時間近くも10kgのリュックを背負って歩いていることになる。しかし、これからが本番である。

樹林帯に入り暑さからも開放され涼しささえ感じられる。講師を先頭に総勢19名が続くが、だんだんに列が長くなる。足に疲れが出てきている。

木々の間から漏れてくる光に葉が透かされて緑が鮮やかだ。足元は写真のように木の根が張り出しているがそれほど歩きにくさはない。ただ、今回から参加された方にはかなり大変な山行になったのかと思う。しばらく歩くと夕日の滝分岐に出た。なんと車が止まっている。足柄峠の方からここまで車が入ってこれるようだ。一般的にはここから登ることになるわけで登山者の数も多くなっ



ている。残念な事にここで今回初参加の方がリタイヤすることになってしまった。講師と一緒に歩いて歩くことになり、これも仕方のないことである。

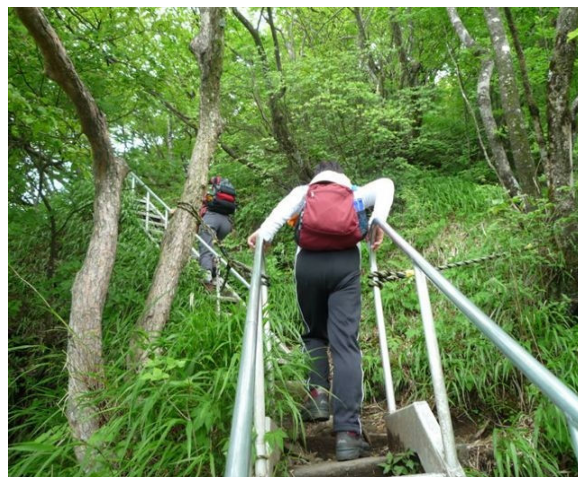


山頂での素晴らしい景色を見ることが出来なかったが、これに懲りずに頂上に登る楽しみ・感動を味わうためにも是非続けて欲しいものです。

ここからの登山者は涼しい顔をして登っていく。

「私たちは山北の駅からもう4時間も歩いているのよ！」と小さい声で言いながらも笑っている。十分に楽しんでいる。

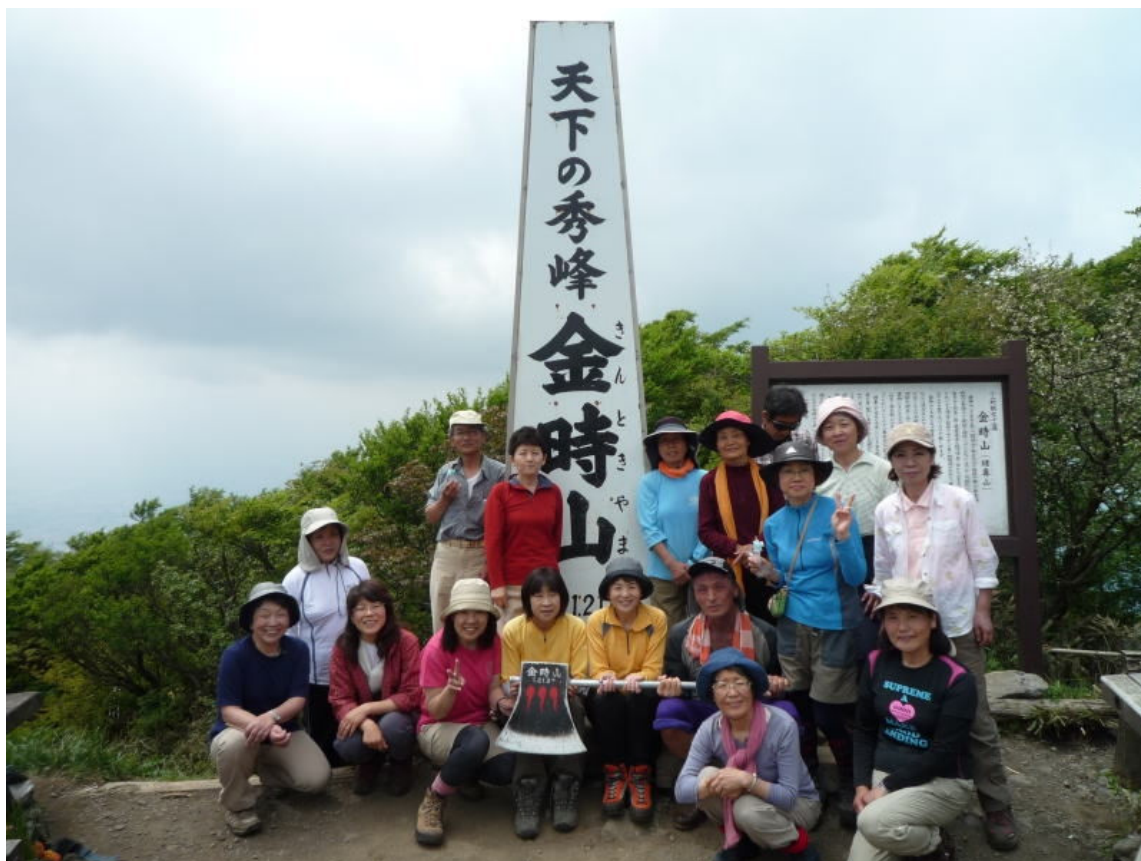
新柴分岐まで来ると、いよいよはしごと階段の登りです。



さあ、あと少し！「頑張ろう！！」と一步一步登っていきます。

はしごには番号と「ね・うし・とら・う・たつ・・・」と干支の名が書かれており、ちょうど12箇所のはしごがある。たまたま12箇所だから干支の名を付けたのか、考えてそうしたのかどちらだろうか？

12時40分やっと頂上に到着。金時山に5時間半もかかるなんて思ってもみなかった。頂上にはすでに大勢の人達でいっぱい！さすが人気の高い山と登山ブームが伺えた光景でした。しかし、残念ながら今日は富士山を望むことは出来なかった。



みんな笑顔で「はい！チーズ」

13時30分、下山開始。帰りは新柴コースから足柄駅まで下ることに。15時40分無事足柄駅に着く。16時22分電車で帰路に
今日も1日お疲れさまでした。



このはしごは「さる」
撮影した人が分かりますね

かえるの卵の産卵場所
「ヒキガエルの一生」という文章と一緒に



新柴分岐
金太郎の下の籠には
飴が入っているそうだ

シオ

シロヤ

